

未来を担う人材をいかに育むか

本日、中学3年生と保護者の方を対象に松江市内専門高校説明会を行いました。本校と松江工業高校、松江商業高校がそれぞれの学校の特徴や専門高校の教育の魅力を伝えます。昨年度から3校同日、各校開催として、本校が9:00～、松江工業高校が11:00～、松江商業高校が14:00～といった具合です。

小雨の降る中、約350名の中学生と保護者の方に参加いただき、松江農林高校の学校運営方針や教育方針、各学科の概要等を説明し、事前にうかがった質問に答えるといった内容で60分の説明会でした。その後、希望により校舎内の施設見学や、個別の質問にお答えしたりと、本校の様子を感じていただいたり、教育内容を理解していただきました。

暑期中、本校には350人が収容できる冷房が効く部屋がないため体育館で行い、スクリーンに映し出された映像も後方の方からはほとんど見えなかったと思います。このように条件の悪い環境ではありませんでしたが、参加された方は熱心に学校からの話を聞いていただき感謝いたします。

農林高校であるからには、農業や農業関連産業の後継者を育成することが第1の使命です。そして、進学者に対しても18歳までに職業観の育成や社会性を高めるような教育や指導を行っていること、さらに将来の島根を担う人材の育成に重点を置き、様々な活動を関係機関と協力しながら行っていることなど本校の教育実践における特徴を中心に話をしました。『為すことにより学ぶ』ことが農業教育、専門教育の本質で多くの体験する機会を通じて自立を促したり、役に立ち、褒められ、感謝されるような経験を積んでいくことで自己肯定感や人間力が育っていくと考えています。

在校生には何回か話したこともあります。勉強は自分のためにやるのではなく人の役に立つためにやるものです。入試に向けて得点をあげるといっても大事なのですが、それよりも学んで豊富な知識を身につけて賢くなって、技能を身につけて、社会人としてのマナーや規範意識を身につけて社会で人の役に立つためにやるのが勉強で、毎日が勉強です。

今日真剣に聴いてくれた中学生の姿を見て、この子たちが立派に社会人となり、社会や地域で活躍できるように高校は頑張っていくとけないと、と改めて感じることができました。

松江農林高等学校
学校運営・指導方針の特徴
すべての蕾よ花とさけ

松江農林高校の使命は何か？

(松江農林高校に求められているものは何か)

- 島根県の農業・園芸・土木・造園・食品・福祉・地域の産業・地域の文化等を支える**専門的な知識・技能を有した将来のスペシャリスト**を育成する。
- 島根県の産業を担うために、**社会人としての基礎力を有した人材**を育成する。
- 職業人として必要な**人間性を養い、生命・自然・ものを大切に**する心や**規範意識・倫理観を持った人材**を育成する。

今後、農業需要は増えていくと予測されている

世界的な日本食ブーム

オリンピック・パラリンピック需要とその後の日本産品の評価

世界の食料市場	2020年 683兆円	2016年 2016年
2009年 349兆円	日本 9700万人	1億2千万人
	世界 100億人	73億人

日本の人口は減少するが、世界人口は増える

未来を担う人材をいかに育むか その1

学力観(学力の3要素)の認識

- 【知識・技能】知識・技能の十分な習得(知ってあって使えなまっチャム) ... 分かる、説明できる、... を作る事ができる
- 【思考力・判断力・表現力】習得した知識・技能を活用して、課題を発見し、答えが一つではない課題に自ら答えを出す力
- 【主体性・多様性・協働性】主体性を持って、多様な人々と協働して取り組む態度

多面的な評価

- 授業やテストでの知識・技能、部活動、生徒会・農業クラブ・家庭クラブ活動、各種大会・発表会、学校行事、インターンシップ等々
- 評価は、順位付けのためではなく、成長発展のために克服すべき課題を発見するためのもの

未来を担う人材をいかに育むか その2

キャリア教育の実践

- 家庭・学校・地域で人の役に立ち、褒められ、感謝される機会を多く作る
- 卒業
 - 褒められ感謝される機会60%×人数はごく少数
 - 褒められ感謝される機会30%×人数は少数
 - 褒められ感謝される機会10%×人数は多数

人間力の育成

- たくさんの体験する機会を通じて自立を促す
- 非認知能力を高める

将来の年収、就業形態に大きく影響する(「学力の経済学」中室牧子)

非認知能力

① 学力テストなど数値で測定できるもの

非認知能力

② 精神力、自制心、意欲、リーダーシップ、創造性、社会性などの人間の気質や性格的な特徴

未来を担う人材をいかに育むか その3

ふるさとを支える自覚、社会参画意識を高める

○ふるさとの良さを知り、支えようとする

○ふるさとの課題を解決するために、考え協力して行動する

未来を担う人材をいかに育むか その4

AI(人工知能)に負けないために

○AIが人間にかなわないもの(理化学研究所「高橋悠一氏」)

- *創造性
- *マネジメント(資源・資産・リスクの最適化、自分自身が抱えているものをいかに最適化するか)
- *ホスピタリティ(おもてなし、思いやり)
- *課題を発見する力

○「AI vs 教科書を読めない子どもたち」(国立情報学研究所 新井紀子氏)

AIの弱点＝常識で判断できない、応用がきかない、柔軟性がない、決められたフレームの中でしか計算処理ができない

→これができる人間になろう、基礎的読解力＝意味を理解する人

能動的になるほど学びの定着が図れる

ラーニングピラミッド

学習定着率: 5% (講義を受ける) → 10% (本を読む) → 20% (模範的習得) → 30% (実演・実習) → 50% (グループ討論) → 75% (自ら体験する) → 90% (人に教える・説明する)

→ 一斉授業、講義・講話 → 朝読書 → 模範的習得 → 実物、写真、ビデオや音声等による授業 → 実演を見る、企業見学等 → 他者と議論する授業、課題研究、AI等 → 実験・実習、インターンシップ等 → 交流活動、プレゼン、ボランティア活動等

(出典:エドガー「ラーニングピラミッド」)

高校3年間できちんと育てて社会に返します

子どもたちは社会から・未来からの預かりもの

島根県を支える人材が不足しています

- ⇒ 建築・土木・測量技術者、土木の職業
- ⇒ 保健師・助産師・看護師
- ⇒ ホームヘルパー等介護サービスの職業
- ⇒ 保育士、福祉施設指導専門員
- ⇒ 農林漁業の職業
- ⇒ その他(警備員等保安、自動車運転、商品販売等)